

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (4) まちづくり観光の推進

(評価担当者)

生活文化部長 青木 正彦

基本施策が目指す姿

来訪者が、地域の魅力に共感し、活気にあふれた交流が行われています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	主要観光施設入込客数	人	306,650	H27	248,902	235,411	213,350	183,001		368,000
2	関宿内の観光関連店舗数	店舗	22	H28	22	24	30	30		26
3	まちづくり観光に関わる団体数	団体	89	H28	88	90	85	84		94
4										
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 観光地としての魅力があり、観光施設が整っている	重要度 0.84 満足度 0.79	0.80 0.90	0.77 0.91	観光地の魅力に対する市民の認識は、重要度・満足度ともに下降傾向であり、現状との乖離が生じており、関宿をはじめとする観光地としての魅力を市民に対しても更に発信していくことが必要である。
2	重要度 満足度			
3	重要度 満足度			
4	重要度 満足度			
5	重要度 満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずつま進んでいる	<p>コロナ禍により、クルーズ船の訪問客やイベント等を通じたプロモーション活動が実施できず、入込客数は減少している。一方で、きめ細かな情報発信により観光協会HPへのアクセス数は若干の減となったものの例年どおりで推移している。また、メモリアルフォトサボット事業やラッピングトラックの企画等を行うとともに、地域資源の掘り起こしとして亀山産みつまたを原料とした伊勢和紙づくりに取り組み、三重とこわか国体の表彰状として採用されることとなった。更に、トレッキングイベントの開催を重ねることで、亀山7座トレイルの知名度が浸透しつつあり、エコツーリズムの進展が期待できるが、アンケート結果からもまだまだ市民が期待する観光地としての魅力としては認識が低いことから総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>コロナ禍において、観光の質が個人旅行へ移行する中、観光地はよりいっそう本物志向の整備が求められる。また、旅行者は事前の情報収集により旅行先を決めるなど、より一層の情報発信の重要性が増すことから、情報発信における環境整備を図る必要がある。</p> <p>一方で、コロナ禍においても自然観光の気持は根強く、亀山7座トレイルを中心とするエコツーリズムを総合的に発展させていくための仕組みを構築し、エコツーリズムから既存の観光地へ繋がる取組が必要である。また、まちづくり観光のコーディネート機能を果たす亀山市観光協会については、活動が制限される中、事業の縮小や会員数の減少などの課題はあるが、運営強化を図るべく創意工夫した取組が求められる。</p>	

今後の展開方針

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えると、旅行者は団体旅行から個人旅行へと観光の質が変化してきており、社会情勢の変動にも対応できる観光施策を進める必要がある。そのため、既存の観光資源の発信や、民間事業者との協働による亀山7座トレイルを中心としたエコツーリズムの推進による新たな訪問客の誘導、フィルムコミッションや物産・特産品等の新たな観光資源の開発などを進めるとともに、更なる情報発信に努め、観光地のリピート効果を誘導していく。亀山市観光協会については、これら様々な取組が運営強化にもつながることから、引き続き協議・検討を行い、必要な運営支援を行うことで組織強化を図っていく。また、関宿にぎわいづくり基金についてハード事業にも活用できることとしたことから、活用について今後検討を進めるとともに、市の目指すべき観光振興策などについて整理した観光振興ビジョンを策定する。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		持続可能なまちづくり観光の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	ホームページのアクセス数は例年どおり推移している。コロナ禍の中で活動に制約があったが、新たな取り組みとして、結婚式場の前撮りなどを対象とする記念撮影サポート事業の実施、市の魅力を全国発信するラッピングトラックの企画等を行った。一方、地域資源の掘り起こしに取り組み、みつまたを愛する会と協働して亀山産みつまたの発信に取り組んだ。	評価	年間を通じて活動に制約がある中で、3密を回避する安全な手法を模索し事業が実施できた。新規事業としてみつまたを愛する会と伊勢和紙製造会社と連携を支援し、地域資源である亀山産みつまたを原料とした伊勢和紙づくりに取り組み、三重とこわか国体の表彰状として採用されるなど、地域資源の掘り起こしが行えたことは大きな成果と考える。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17065	観光協会運営支援事業	主	17,700 / 16,385		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		観光地の魅力づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	従来からのイベント等を通じたプロモーション活動については実施できなかった。団体訪問から個人客へと訪問客の質が変化していることから、インターネットでの情報提供の充実を図った。亀山7座トレイルでは、登山道調査、修繕等を58回行いトレイルマップを完成した。また、講習会や登山イベントを13回開催し、鈴鹿川等源流域の自然の素晴らしさをPRした。	評価	これまでの観光プロモーションの事業内容が実施できず、十分な観光PRは実施できなかったが、トレッキングイベントを通じて亀山7座トレイルの知名度は浸透しつつあり、新たな観光資源として観光地の魅力づくりは進んだ。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17064	観光プロモーション推進事業	主	102 / 102		C	C
	19012	亀山7座トレイル整備・活用推進事業	主	3,100 / 3,068		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	亀山市観光連携会議における亀山観光ツイッターの開設					B	B

施策の方向		快適に滞在できる受け入れ環境の向上					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	「関宿・周辺地域にぎわいづくり基本方針」に沿った事業を行なう団体に対し補助金を交付し、賑わいづくりに資する事業実施を支援した。亀山納涼大会、関宿祇園夏まつり、納涼花火大会、街道まつりは、実行委員会の判断により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。	評価	コロナ禍により活動が制限されたが、1団体には支援を行い、関宿のにぎわい創出のために備えた。亀山市基金条例の一部改正し、にぎわいづくり基金をハード事業にも活用できるものとした。観光イベントの実施については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったことから、団体支援はできなかった。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	7044	関宿・周辺地域にぎわいづくり推進事業	標	100 / 100		B	B
	7011	団体支援事業(観光振興事業)	標	867 / 861		D	D
事業以外の取組	内容					活動	成果
	足湯交流施設における観光案内業務の強化					B	B